

## 自動走行システム・システム実用化WG（第31回）議事要旨

1. 日 時 平成27年11月11日（水）10:00～12:00

2. 場 所 中央合同庁舎8号館6階 623会議室

3. 出席者：

(PD代理) 葛巻 清吾 トヨタ自動車株式会社 CSTO 補佐  
(主査) 稲垣 敏之 筑波大学 副学長  
浅田 浩之 三菱自動車工業株式会社開発本部 車両先行研究部 部長 (代理：渡邊武司)  
内村 孝彦 ITS-Japan 理事  
鶴浦 清純 株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 主任研究員  
金光 寛幸 トヨタ自動車株式会社 情報電子システム開発部 主査  
柴田 英司 富士重工業株式会社 車両研究実験第4部 主幹 (代理：吉村尚秀)  
前川 誠 電子情報技術産業協会 (日本電気(株)PBU イグゼクティブエキスパート)  
村上 祐一 日本自動車部品工業会 (アイシン精機(株) 技術企画部 主席技師)  
山田 憲一 ダイハツ工業株式会社 開発部 機能部品開発室 主担当員  
山本 康典 マツダ株式会社 技術研究所 人間機械システム研究 研究長  
  
市川 類 内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官 (代理：大嶋宏明)  
加藤 伸宏 警察庁 長官官房 参事官  
中村 裕治 総務省 総合通信基盤局新世代移動通信システム推進室 室長 (代理：益子喬紀)  
吉田 健一郎 経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術 ITS 推進室 室長  
河南 正幸 国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 室長  
久保田 秀暢 国土交通省 自動車局 技術政策課 国際業務室 室長

(自動走行システム推進委員会)

岩貞 るみこ 自動車ジャーナリスト  
片原 尚俊 電子情報技術産業協会 (富士通(株) マーケティング改革PJ室シニアエキスパート)  
川本 雅之 筑波大学 教授  
清水 和夫 自動車ジャーナリスト (代理：吉岡卓朗)  
永井 正夫 日本自動車研究所 代表理事・研究所長  
福島 正夫 日産自動車株式会社 環境・安全技術渉外部 技術顧問

(国際連携WG)

三角 正法 ITS標準化委員会 走行制御分科会長

(事務局)

松本 英三 内閣府 科学技術・イノベーション担当審議官  
森下 信 内閣府 科学技術・イノベーション担当企画官  
吉川 元淳 内閣府 科学技術・イノベーション担当

4. 議題

1) 事務局連絡

- (1) システム実用化施策 進捗状況報告
- (2) ホームページの公開及び今後の進め方
- (3) 今後のスケジュール(案)について
- (4) 構成員一覧(更新)

2) 2nd SIP-adus Workshop 開催報告(速報版)

3) H27 年度施策進捗報告(受託時報告)

- |          |                                 |           |
|----------|---------------------------------|-----------|
| (1) 警 1  | (信号情報の活用による運転支援の高度化)            | (UTMS 協会) |
| (2) 警 3  | (電波を利用した安全運転支援システム (DSSS) の高度化) | (UTMS 協会) |
| (3) 経 6③ | (信号情報等のリアルタイム活用技術等の開発及び実証)      | (UTMS 協会) |
| (4) 内 2② | (交通事故死者低減効果見積もり解析手法に係る調査)       | (ITARDA)  |
| (5) 総 1  | (国交省) 10/21 報告時の追加説明 (ASV との違い) | (自動車局)    |

#### 4) その他

- (1) サイエンスアゴラ「自動走行技術が創る未来社会」紹介 (11/15(日)開催)
- (2) ドイツ政府による自動運転戦略

#### 5. 配付資料

- |               |   |         |
|---------------|---|---------|
| 資料 3 1-1-1    | 一覧_(151110 現在)                              | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-1-2    | ホームページ制作状況                                  |         |
| 資料 3 1-1-3-1  | 推進委員会・公開開催 & 開催頻度変更提案                       |         |
| 資料 3 1-1-3-2  | SIP 今後の進め方(推進委員会資料)                         | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-1-3-3  | 来年度実施計画立案に向けたスケジュール                         | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-1-3-4  | 推進委員会・WG・TF の実施スケジュール                       |         |
| 資料 3 1-1-4    | 構成員名簿 (システム実用化 WG)                          |         |
| 資料 3 1-1-5    | HMI タスクフォースの設置及びメンバについて(案)                  |         |
| 資料 3 1-2      | 2 <sup>nd</sup> SIP-adus Workshop 開催報告(速報版) |         |
| 資料 3 1-3-1    | H27 年度 警 1 UTMS 受託者報告                       | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-3-2    | H27 年度 警 3 UTMS 受託者報告                       | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-3-3    | H27 年度 経 6③ UTMS 受託者報告                      | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-3-4-1  | H27 年度 内 2② ITARDA 受託者報告                    | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-3-4-2  | H27 年度 内 2② ITARDA 補足資料(事故マップ)              | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-3-5    | H27 年度 総 1 (国交省) 前回報告時の追加説明                 | 【非公開資料】 |
| 資料 3 1-4-1    | サイエンスアゴラについて(11/15 開催)                      |         |
| 資料 3 1-4-2    | ドイツ自動運転戦略概要                                 |         |
| 資料 3 1-4-2 別冊 | ドイツ自動運転戦略本文 (別冊)                            |         |

#### 【参考資料】

- 参考資料 1 システム実用化WG (第 30 回) 議事要旨

#### 6. 議事要旨

##### 1) 事務局連絡

- (1) システム実用化施策 進捗状況報告
  - 資料 31-1-1 に基づき、各省庁施策の進捗状況について、事務局より報告があった。
- (2) ホームページの公開及び今後の進め方
  - 資料 31-1-2 に基づき、ホームページの公開状況について、事務局より報告があった。
- (3) 今後のスケジュール(案)について
  - 資料 31-1-3-1 から 31-1-3-4 に基づき、今後の活動のスケジュールについて事務局より報告が行われた。
  - 今後の活動について、説明が行われ、質疑応答が行われた。
- (4) HMI タスクフォースの設置及びメンバについて

➤ 資料 31-1-5 に基づき、HMI タスクフォースについて事務局より報告があった。

## 2) 2nd SIP-adus Workshop 開催報告

➤ 資料31-2に基づき、先週開催されたワークショップの開催速報として、報告が行われ、引き続き議論が行われた。

## 3) H27 年度施策進捗報告

### (1) 警 1 : 信号情報の活用による運転支援の高度化

➤ 警察庁施策の概要説明があり、引き続き資料31-3-1に基づき、報告があり、引き続き議論が行われた。

### (2) 警 3 : 電波を利用した安全運転支援システム (DSSS) の高度化

➤ 資料31-3-2に基づき、報告があり、引き続き議論が行われた。

### (3) 経 6 ③ : 信号情報等のリアルタイム活用技術等の開発及び実証

➤ 経 6 ③の経産省施策の概要説明が行われ、資料31-3-3に基づき、報告があり、議論が行われた。

### (4) 内 2 ② : 交通事故死者低減効果見積もり解析手法に係る調査

➤ 事務局より内 2 ②の内閣府施策の概要説明が行われ、資料31-3-4に基づき、報告があり、引き続き議論が行われた。

### (5) 総 1 (国交省) : 10/21 報告時の追加説明

➤ 資料31-3-5に基づき、報告があり、議論が行われた。

## 4) その他

### (1) サイエンスアゴラ 2015 「自動走行技術が創る未来社会」

➤ 資料 31-4-1 に基づき、事務局から紹介があった。

### (2) ドイツ政府による自動運転戦略

➤ 資料31-4-2-1、31-4-2-2に基づき、ドイツ政府の自動運転戦略についての情報提供が行われた。

### (3) 今後の受託者説明について

➤ 本日の発表者のプレゼンを受けて、次回以降の対応について要請があった。

## 7. その他

➤ 次回は 11 月 25 日 (水) に開催の予定。

以上